

平成14年度厚生労働科学研究費補助金採択課題一覧

(単位:千)

主任研究者	所属施設	職名	研究名	交付決定額
藤内 修二	大分県日田玖珠保健所	所長	地域における「健やか親子21」の推進に関する研究	7,000
北山 秋雄	長野県看護大学健康保健学	教授	性的搾取及び性的虐待被害児童の実態把握及び対策に関する研究	4,000
高野 陽	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	部長	保育所における保健・衛生面の対応に関する調査研究	11,000
山縣 然太郎	山梨医科大学医学部・医学科・保健学II講座	教授	地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究	20,000
牛島 廣治	東京大学大学院医学系研究科	教授	多民族文化社会における母子の健康に関する研究	7,200
麻生 武志	東京医科歯科大学大学院生殖機能協同学	教授	女性の生涯を通じた健康啓発・支援システムづくりに関する研究	10,500
田村 正徳	埼玉医科大学総合医療センター小児科	主任教授	後陣害防止に向けた新生児医療のあり方に関する研究	11,700
黒田 泰弘	徳島大学医学部小児科	教授	マスキングの効率的実施及び開発に関する研究	18,000
柳川 洋	埼玉県立大学	副学長	川崎病の発生実態及び長期予後に関する疫学的研究	8,000
三科 潤	東京女子医科大学総合母子医療センター 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター母子医療センター	助教授	全出生児を対象とした新生児聴覚スクリーニングの有効な方法及びフォローアップ、家族支援	12,000
住吉 好雄	三重大学医学部産科婦人科学講座	客員教授	先天異常モニタリング等に関する研究	14,000
豊田 長康	三重大学医学部産科婦人科学講座	教授	妊娠糖尿病のスクリーニングに関する多施設共同研究	7,200
五十嵐 隆	東京大学大学院医学系研究科生殖発達加齢医学専攻	教授	小児難治性腎尿路疾患の早期発見、管理・治療に関する研究	8,000
吉池 信男	独立行政法人 国立健康・栄養研究所(健康・栄養調査研究部)	研究企画・評価主幹	妊産婦、授乳婦の栄養素摂取及び栄養状態に関する基準データの策定	5,600
望月 友美	国立保健医療科学院 研究情報センター	室長	思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究	11,300
小林 陽之助	関西医科大学医学部小児科学講座	教授	小児心身症対策の推進に関する研究	12,000
渡辺 久子	慶應義塾大学医学部小児科学教室	講師	思春期やせ症の実態把握及び対策に関する研究	5,000
衛藤 隆	東京大学大学院教育学研究科	教授	思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究	16,000
三池 輝久	熊本大学医学部小児発達学講座	教授	思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究	4,000
青野 敏博	徳島大学医学部	名誉教授	助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究	16,000
中野 仁雄	九州大学大学院医学研究院	教授	産後うつ病の実態調査ならびに予防的介入のためのスタッフの教育研修活動	10,000
加藤 忠明	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	小児保健担当部長	小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究	15,000
中村 肇	神戸大学大学院医学研究科	教授	周産期医療水準の評価と向上のための環境整備に関する研究	15,000
松浦 信夫	北里大学小児科	教授	糖尿病および生活習慣病をもつ子どものQOL改善のための研究	13,500
田中 哲郎	国立保健医療科学院 生涯保健部	部長	子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究	8,000
田中 敏章	国立成育医療センター内分泌代謝科	医長	成長ホルモン治療の適正化に関する研究	4,000
山城 雄一郎	順天堂大学医学部小児科	教授	子どものためのインフォームドコンセントを推進するプレパレーションツールの開発	7,200
多田 裕	東邦大学医学部新生児学教室	教授	育児不安軽減のための小児科医の役割とプレネタタルビジットの評価に関する研究	8,000
庄司 順一	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	福祉臨床担当部長	被虐待児童の保護者への指導法の開発に関する研究	12,500
板橋 家頭	昭和大学横浜市北部病院こどもセンター	こどもセンター教授	育児不安の軽減に向けた低出生体重児の栄養のあり方に関する研究	2,000
渡部 信一	東北大学大学院教育情報学研究部	教授	インターネット及び人的ネットワークを活用した育児不安軽減に関する研究	7,000
中村 敬	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	情報担当部長	地域における子育て支援ネットワークの構築に関する研究	4,200
高橋 重宏	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	子ども家庭福祉研究部長	児童福祉分野における職員の専門性及びその国際比較に関する研究	11,500
芝野 松次郎	関西学院大学社会学部社会福祉学科	教授	児童福祉専門職の児童虐待対応に関する専門性向上のためのマルチメディア教育訓練教材および電子書式の開発的研究	14,000
小西 聖子	武蔵野女子大学人間関係学部	教授	DV被害者における精神保健の実態と回復のための援助の研究	8,300

庄司 洋子	立教大学社会学部	教授	ひとり親家族の自立支援施策のあり方に関する実証的研究	6,175
野田 正人	立命館大学産業社会学	教授	非行問題に対応する児童福祉サービスのあり方に関する調査研究	2,700
福山 清蔵	立教大学コミュニティ福祉学部	教授	児童福祉施設における自立支援のためのアセスメント作成の研究	4,500
湯沢 雅彦	東洋英和女学院大学人間科学部	講師	里親委託と里親支援に関する国際比較研究	3,000
網野 武博	上智大学文学部社会福祉学科	教授	保育が子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	5,000
古山 順一	関西看護専門学校(兵庫医科大学名誉教授)	校長	遺伝子医療の基盤整備に関する研究	10,000
坂上 正道	早稲田医療学園人間総合科学大学	学長	ン作成およびその予防と発症率軽減に関する研究	17,000
小林 正子	国立保健医療科学院	行動科学室長	乳幼児から思春期まで一貫した子どもの健康管理のための母子健康手帳の活用に関する研究	7,000
高村 寿子	自治医科大学看護学部	教授	ピアカウンセリング・ピアエデュケーションのマニュアル作成及び効果的普及に関する研究	6,000
吉村 泰典	慶應義塾大学医学部産婦人科学教室	教授	配偶子・胚提供を含む総合的生殖補助技術のシステム構築に関する研究	10,000
中村 好一	自治医科大学保健科学講座公衆衛生学部門	教授	快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究	5,000
鈴森 薫	名古屋市立大学医学部産科婦人科	教授	日本人女性の葉酸代謝関連酵素遺伝子多型と先天異常(神経管欠損症およびダウン症候群等)の発生予防効果に関する基礎的研究	7,000
宇野 彰	国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部治療研究室	室長	学習障害児の早期発見検査法の開発および治療法と治療効果の研究	5,000
秦 順一	国立成育医療センター研究所	研究所長	小児難治性疾患登録システムの構築に関する研究	3,000
日暮 眞	東京家政大学児童学科小児学第二研究室	教授	子育て時における両親の相談ニーズ把握及び保健医療福祉スタッフ支援モデル研究事業	10,000
鴨下 重彦	社会福祉法人 賛育会 賛育会病院	院長	小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究	80,000
稲葉 裕	順天堂大学医学部衛生学教室	教授	生涯を通じた健康の管理・保持増進のための健康教育・相談支援等の充実に関する研究	10,000
天野 恵子	千葉県衛生研究所	所長	日本における女性医療の課題に関する医療社会学的研究ならびに性差を加味した健康度及び生活習慣の測定手法の評価に関する研究	11,000
西島 正博	北里大学医学部	教授	就労女性の妊娠分娩および妊産婦健康診査のあり方に関する研究	6,000
佐藤 郁夫	自治医科大学医学部産科婦人科学教室	名誉教授	効果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究	12,000
服部 祥子	大阪人間科学大学人間科学部人間環境学科	教授	児童虐待発生要因の解明と児童虐待への地域における予防的支援方法の開発に関する研究	11,000
本間 博彰	宮城県子ども総合センター	所長	児童虐待に対する治療的介入と児童相談所のあり方に関する研究	5,000
才村 純	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	ソーシャルワーク研究担当部長	児童福祉施設等における被虐待児童の実態等に関する調査研究	13,000
金 吉晴	国立精神・神経センター精神保健研究所成人精神保健部成人精神保健室	室長	母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもへの心理的支援のための調査	5,000
山崎 美貴	明治学院大学社会学部	教授	ひとり親(母子)家庭・再婚家庭の実態とその支援方法に関する研究	6,000
林 喜男	株式会社現代家族問題研究所	顧問	ITを活用したひとり親家庭の母親の在宅就労に関する研究	10,000
菅原 ますみ	お茶の水女子大学文教育学部	助教授	非行・ひきこもり等の児童問題対策に関する研究	7,000
山縣 文治	大阪市立大学大学院生活科学研究科	助教授	児童福祉施設における地域支援のあり方に関する研究	6,000
水野 清子	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所	客員研究員	保育所の給食システムに関する研究	7,000
金子 恵美	日本社会事業大学	助教授	保育所と幼稚園の合同保育に関する調査研究	8,500
福島 富士子	国立保健医療科学院公衆衛生看護学部	主任研究官	市町村母子保健計画書の数値的分析による計画書改訂の評価	5,000
山口 規容	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院	名誉院長	地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究	5,000
山本 茂	徳島大学医学部栄養学科	教授	子どもの発達段階に応じた効果的な栄養・食教育プログラムの開発・評価に関する総合的研究	8,000

課題採択の留意事項等(別紙2)

平成12年度公募

<新規課題採択方針>

「新エンゼルプラン」に対応した、母子保健及び子育て支援を総合的・計画的に推進するための児童家庭福祉、少子化問題、乳幼児の障害の予防、母性及び乳幼児の健康の保持増進に関する研究。

研究費の規模：1課題当たり2,000千円以上20,000千円以下(1年当たり)

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：10課題程度

平成13年度公募

<新規課題採択方針>

「健やか親子21」及び「新エンゼルプラン」に対応した、母子保健及び子育て支援を総合的・計画的に推進するための児童家庭福祉、乳幼児の障害の予防、母性及び乳幼児の健康の保持増進に関する研究。

研究費の規模：1課題当たり2,000～20,000千円以下(1年当たり)

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：28課題程度

平成14年度公募

<新規課題採択方針>

「健やか親子21」及び「新エンゼルプラン」に対応した、母子保健及び子育て支援を総合的・計画的に推進するための児童家庭福祉、乳幼児の障害の予防、母性・乳幼児の健康及び生涯を通じた女性の健康の保持増進に関する研究。

研究費の規模：1課題当たり2,000～20,000千円程度(1年当たり)

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：20課題程度

○12年度公募研究課題

子ども家庭総合研究事業

- 1 母子保健施策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1)母子保健サービスの効果的な提供又はその満足度に関する研究
 - (2)育児不安の解消に関する研究
 - (3)子どもの心身の健康づくりに関する研究
 - (4)生活環境が子どもの健康や心身の発達に及ぼす影響に関する研究
- 2 生涯を通じた女性の健康に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1)思春期保健の向上に関する研究
 - (2)リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)から見た子宮内膜症等の予防、診断、治療に関する研究
- 3 生殖補助医療の適応及びその在り方に関する研究
- 4 遺伝相談体制の構築に関する研究
- 5 母子医療、小児保健医療に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1)周産期医療又は小児保健医療体制における問題点の把握及び対策に関する研究
 - (2)未熟児、小児難病又は小児慢性疾患児の効果的療育支援及び治療方法に関する研究
 - (3)妊産婦の健康管理及び快適な妊娠出産の確保に関する研究
- 6 児童虐待の実態把握に関する研究
- 7 性的搾取及び性的虐待被害児童の実態把握及び対策に関する研究
- 8 児童福祉の法及び制度の国際比較に関する研究
- 9 ひとり親家庭の子育て支援に関する研究
- 10 児童の健全育成に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1)児童の非行防止に関する研究
 - (2)要保護児童の自立支援に関する研究
- 11 保育に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1)保育所と幼稚園の合同保育に関する調査研究
 - (2)保育所における保健・衛生面の対応に関する調査研究
 - (3)保育所における給食の在り方に関する調査研究

○平成13年度公募研究課題

子ども家庭総合研究事業

- 1 母子保健施策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1) 母子保健サービスの効果的な提供及びその満足度に関する研究
 - (2) 生涯を通じた女性の保健サービスの在り方に関する研究
 - (3) 乳児及び幼児の障害の予防に関する研究
 - (4) 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に関する研究
- 2 思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究
- 3 妊娠及び出産に関する安全性及び快適性の確保並びに不妊への支援に関する研究
- 4 小児の保健医療水準の維持及び向上のための環境の整備に関する研究
- 5 子どもの心の安らかな発達の促進及び育児不安の軽減に関する研究
- 6 児童福祉分野における職員の専門性及びその国際比較に関する研究
- 7 児童相談所における相談援助技術に関する研究
- 8 女性の保護に関する研究
- 9 ひとり親家庭の自立支援に関する研究
- 10 児童の健全育成に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (1) 非行等の児童問題対策に関する研究
 - (2) 要保護児童の自立支援に関する研究
- 11 保育が乳幼児の心身の発達に及ぼす影響に関する研究

○14年度公募研究課題

子ども家庭総合研究事業

- ①母子保健施策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)乳幼児突然死症候群のガイドライン作成に関する研究
 - (イ)母子健康手帳の学校保健等における活用に関する研究
 - (ウ)遺伝子医療の基盤整備に関する研究
- ②思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)ピアカウンセリング・ピアエデュケーションのマニュアル作成及び効果的普及に関する研究
- ③妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)生殖補助医療の実態及びそのあり方に関する研究
 - (イ)快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究
- ④小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)小児慢性疾患の診断精度及び治療成績の向上のための方策に関する研究
- ⑤子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)保健医療福祉スタッフのためのメンタルケアマニュアル開発に関する研究
- ⑥小児科・産婦人科若手医師育成に関する研究
- ⑦生涯を通じた女性の健康支援に関する調査研究に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)生涯を通じた健康の管理・保持増進のための健康教育・相談支援等の充実に
関する研究
 - (イ)望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究
- ⑧児童虐待防止対策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)児童虐待予防のための地域における家族支援システムのあり方に関する研究
 - (イ)児童相談所における介入方法と予後に関する研究
 - (ウ)児童福祉施設における被虐待児童の実態及び家族再統合に向けた支援のあり方に関する研究
- ⑨女性の保護に関する研究のうち次に掲げるもの

- (ア)児童問題と家庭内暴力との関係等に関する研究
- ⑩ひとり親家庭等の自立支援に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)ひとり親家庭や再婚家庭の実態及び支援のあり方に関する研究
- ⑪児童の健全育成に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)非行・ひきこもり等の児童問題対策に関する研究
 - (イ)児童福祉施設等における地域支援のあり方に関する研究
- ⑫保育需要の把握及び将来推計に関する研究
- ⑬保育が乳幼児の心身の発達に及ぼす影響に関する研究のうち次に掲げるもの
 - (ア)保育所給食のあり方に関する研究
 - (イ)保育の国際比較に関する研究
 - (ウ)望ましい保育環境のあり方に関する研究
- ⑭子どもの発達と家庭への支援方策の推進に関する研究